

笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施

たぶせ



THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

議会だより

第136号

題字は岸 信介先生書

2018年(平成30年)1月26日

発行/〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎0820(52)5800 FAX0820(52)5970

編集/議会広報広聴調査委員会 印刷/キッショウ株式会社 <http://www.town.tabuse.lg.jp/> E-mail:gikajimukyoku@town.tabuse.yamaguchi.jp



平成30年 成人式

成人式が1月3日に西田布施公民館で挙行されました。本町の新成人は126人(式出席者97人)、久しぶりに顔を合わせた友人との再会に笑顔があふれていました。

12月定例議会	2
委員会レポート(総務文教・経済厚生)	4
一般質問 8人の議員が町政を問いました	6
指定管理者施設の紹介	14
議会だより135号を読んでの感想です	15



▲携帯で簡単に議会の
ホームページに
アクセスできます

12月定例会

地域交流館など6施設の指定管理者の指定を議決 新農業委員会委員の任命に同意



本会議 (12月11日)

平成 29 年 12 月定例会は 12 月 11 日から 9 日間の日程で開会しました。本定例会では、専決処分 1 件、補正予算 4 件、条例 8 件、その他 6 件、陳情 1 件、人事 1 件及び委員会提出議案 1 件の合計 22 議案を審議しました。なお初日の本会議では、8 人の議員が一般質問に登壇しました。

町長提出議案

専決処分

29年度一般会計補正予算

衆議院議員選挙の経費を増額補正したものです。

【全員賛成】

29年度補正予算

一般会計

歳入歳出の総額にそれぞれ 8656 万 4 千円を増額し、予算総額 60 億 8429 万円とするものです。

〈主な歳入〉

国庫支出金

2543 万 4 千円増

県支出金

1731 万 3 千円増

繰入金

2000 万円増

〈主な歳出〉

民生費

5460 万 6 千円増

農林水産業費

1095 万 8 千円増

【全員賛成】

特別会計

国民健康保険

歳入歳出予算の総額にそれぞれ 6 万 6 千円を追加し、予算総額 23 億 2609 万 5 千円とするものです。

【全員賛成】

下水道事業

歳入歳出予算の総額にそれぞれ 15 万 7 千円を追加し、予算総額 8 億 2277 万 2 千円とするものです。

【全員賛成】

介護保険

歳入歳出予算の総額にそれぞれ 6 万 4 千円減額し、予算総額 15 億 3630 万 4 千円とするものです。

【全員賛成】

条 例

町一般職の任期付職員を採用に関する条例の制定

任期付職員の採用に関する規定を制定するものです。

【全員賛成】

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
組合休暇に関する規定を設けるものです。

【全員賛成】

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

保育所等入所待機の場合に育児休業を延長できるようにするものです。

【全員賛成】

職員の給与に関する条例の一部改正

55 歳を超える職員の標準昇給号給数を県に準じて 1 号給とするものです。

【全員賛成】

放課後児童の保育に関する条例の一部改正

放課後児童の対象に町内在住の町外小学校就学児童を加えるものです。

【全員賛成】

特産加工センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

小行司特産加工センターの位置を訂正するものです。

【全員賛成】

公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正

特定の開発行為の施行

新年のあいさつ

年頭のご挨拶



副議長 畠中 孝

明けましておめでとうございませう。
超高齢化社会が目前に迫り「2025年問題」が議論されています。将来の町の在り方について本町も真剣に取り組まねばなり

ません。
庁舎問題は現庁舎の耐震化が進んでおり平成30年度には完了の予定です。教育委員会等が入る第二庁舎についても検討チームによる素案が示され、議会でも取り組みを始めたところ
議会としては皆さんの負担に出来るべく姿勢を正し、資質向上の努力を
してまいりたいと思いま
す。皆様のご指導、ご鞭撻
をお願いします。

今年は明るい話題に



議長 清神 清

明けましておめでとうございませう。
町議会を代表して町民の皆様にご挨拶を申し上げます。
昨年の日本の世相を現す漢字一文字は「北」と

決まりました。弾道ミサイルの発射や核実験の強行など「北」朝鮮の動向に脅威と不安を感じた年でありました。
又九州「北」部では記録的な豪雨により甚大な被害が発生したこと等から選ばれたようです。「北」とは逃げる、そむく、背を向けると言う暗いイメージがありますが、今年は明るい話題での漢字一文字でありたいものです。
今年一年ご健勝とご多幸を祈念いたします。

者負担で下水道整備された場合における負担金等の減免を規定するものです。
【全員賛成】

町営住宅管理条例の一部改正
認知症である者等の収入申告義務を免除し、町が把握した収入で家賃を決定できるようにするものです。
【全員賛成】

その他
のんびらんど・うましまの指定管理者の指定
【全員賛成】
地域交流館の指定管理者の指定
【全員賛成】
たぶせ特産加工センターの指定管理者の指定
【全員賛成】
小行司特産加工センターの指定管理者の指定
【全員賛成】
心身障害者福祉作業所の指定管理者の指定
【全員賛成】
高齢者介護予防センターの指定管理者の指定
【全員賛成】

※指定管理者施設については14ページに概要を掲載

人事

農業委員会委員任命の同意
農業委員会委員がこれまでの公選制から町長の任命制となり、次の7名の委員を任命することに同意するものです。
(任期は4月1日から3年間)

國永 保氏(石の口)
小野孝子氏(大波野上)
藤本 毅氏(長 田)
小坂竜一氏(大波野上)
【全員賛成】

委員会提出議案

町議会委員会条例の一部改正
委員会名称の変更などを行うものです。
【全員賛成】

西本勝彦氏(木 地)
福本卓雄氏(瀬 戸)
重森 陽氏(尾 迫)

【全員賛成】

あなたの要望はこうになりました

陳情

●「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書
(提出者)

企業組合 ワーカーズコープ山口
理事長 末永 一博

【不採択】

総務文教

総務文教委員会を12月15日に開き、専決処分1件、平成29年度一般会計補正予算、条例改正4件を審査しました。



総務文教委員会（12月15日）



オラレ田布施

専決処分

29年度一般会計補正予算

【全員賛成】

補正予算

一般会計

歳入

周南市事務協力金

（オラレ田布施）

Q 今年度年間収入は。

A 約4000万円。

※当初予算額は2980万円

歳出

e-Tax

Q 確定申告用パソコンを増やすが窓口は増えるのか。

A 公民館など出先で使用するもの。



国税電子申告納税システムバナー

小行司特産加工センター

Q 今年度はどこまでするのか。

A 駐車場整備、浄化槽、厨房改修、井戸ボーリングをする。

特定空家（注）

Q 町内で何戸あるか、解体する基準は。

A 7戸該当。2戸解体する予定。道路に危険をもたらすものを除去。

教育費

Q 扶助費の増額は、貧困家庭の増加によるものか。

A 入学準備金の基準が国に準じて増額となるため。



小学校入学式（本文とは関係ありません）

条例

田布施町一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定

Q 複数採用の時は田布施枠を設けては。

A 町内を優先したいが、成績による。

【全員賛成】

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

Q 組合休暇は無給か。

A 無給である。

Q ボランティア休暇も検討してはどうか。

A 検討する。

【全員賛成】



被災地のボランティア活動

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

【全員賛成】

田布施町職員の給与に関する条例の一部改正

Q 職員から反対はないか。

A 国・県の状況から改正せざるをえない。

【全員賛成】

（注）特定空家等とは

そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態、その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にあると認められる空家等を行います。

経済厚生

経済厚生委員会を12月13日及び19日に開き、平成29年度補正予算4件、条例改正4件、その他6件、陳情1件を審査しました。



経済厚生委員会（12月13日）

補正予算

一般会計

特定空家事業費

Q 特定空家に指定されると解体費の補助が出るのか。

A 平成28年度調査で7戸が特定空家に該当し、2戸が解体希望。限度額50万円。

浄化槽設置

Q 浄化槽は増えているのか。

A 増えている。今年度23件の申請。新築が8割。

農林水産業費

Q 有害鳥獣防護柵は要望すれば追加できるのか。

A 今まで地元でやってきたが要望があればは場整備区域において事業申請することもできる。

【全員賛成】



崩壊する空家（写真：国土交通省 HP 資料から加工）

http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk3_000042.html

特別会計

国民健康保険

Q 医療費や保険税の抑制についての考え方は。

A 医療費の抑制については今後も取り組む。保険税も簡単には上げない。

下水道事業

介護保険

田布施町放課後児童の保育に関する条例の一部改正

【全員賛成】

【全員賛成】

【全員賛成】

条例

田布施町放課後児童の保育に関する条例の一部改正



児童クラブの様子

Q 総合支援学校の児童は対象となるか。

A 想定していない。

【全員賛成】

田布施町特産加工センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

【全員賛成】

田布施町公共下水道受益者負担に関する条例の一部改正

【全員賛成】

Q 排水区域外から下水道に接続する者の都市計画税はどうなるのか。

A 支払うこととなる。

【全員賛成】

田布施町管住宅管理条例の一部改正

【全員賛成】

指定管理者の指定

Q シーズンオフの利用の検討は

A 海のレジャーに特化しており、冬場の営業は難しい。

【全員賛成】

地域交流館の指定管理者の指定

Q 町外からの品物が多く

A 町外からの搬入は5%増の出荷料（16%）をも

らっている。雇用についても面接をして受け入れている。

【全員賛成】

たぶせ特産加工センターの指定管理者の指定

Q 生改連の一番の売りは

A 代表が変わり新規施設扱いとなったため、加工は保健所の許可が下りなかった。

【全員賛成】



たぶせ特産加工センター

小行司特産加工センターの指定管理者の指定

Q 地域おこし協力隊員が

A 今協力隊員が1名となつたため小行司の専属とはいかなくなった。現在協力隊員は募集中。

【全員賛成】

田布施町心身障害者福祉作業所の指定管理者の指定

【全員賛成】

田布施町高齢者介護予防センターの指定管理者の指定

Q 介護予防になるよう適

A 今年度4月からミニデ

【全員賛成】

陳情

「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書

【不採択】

視察研修レポートは13ページに掲載



12月定例会
一般質問

8人の議員が町政の課題を問う

一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を問いただすものです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。

波野北住宅建設

付帯決議に対する進捗状況は

國安 和夫

計画費用を計上

長信町長



國安 和夫 議員

Q 今年3月の議会で、波野北住宅建設事業に関する予算について執行留保の提議をし、再度、審査、検討を求め、賛成多数で可決したが、9か月経過し、その付帯決議に対する進捗状況は。



波野北住宅

実質公債比率

県下ワースト3下での
3億円の借金 國安

町営住宅の必要性はある 町長

Q 現在、西小2220名、麻郷小230名、城南小90名、建設予定地の東小270名は児童数が一番多い。そこに30戸（1戸2,000万円）・6億円（うち3億円は借金）で町営住宅建設に町民からも疑問の声がある。財政的に可能であれば地域性も考

A 町営住宅の建替えには新たな計画の中で優先順位などを議会に計りながら策定したい。現在、町営住宅の募集は、波野南、麻郷、麻里府の3団地のみで半分以上が母子家庭である。特に波野南は倍率が高く8倍、その他も2倍程度で、新たな町営住宅の必要性はある。



城南住宅

A 9月議会で設計費等について、全額減額補正した。

国交省の指針により、30年後の公営住宅必要戸数を算出し、新たな計画の費用を予算計上する。

城南コンパクトシティ構想

城南に子育て世代と高齢者
用町営アパートを 國安

検討する

町長

Q 城南は、町営住宅を中心に半径250m以内に保育園、小学校、公民館、医療施設等がある。また、光、下松、徳山までが通勤圏と考え町営

アパートを提供できれば、町外からの移住者も増え、小学校、地域、町全体のバランスのとれた発展につながるのではないかと。

A 公営住宅法では「住宅に困窮する低所得者に対し低額な家賃で賃貸し国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする」とある。

町としても新たな計画を策定し、その中で城南団地の建替えの考え方、優先順位、概算建設費等について検討したい。

図書館

館長の兼務を問う

國本 悦郎

適任者が不在。来年度も兼務

尾崎教育長



國本 悦郎 議員

Q 館長は、社会教育課長が兼務。その経緯と今後の対応は。至る所で剥がれている壁紙の対応は。読書貯金通帳の利用状況と大人用通帳発行は。講座室の利用状況は。学校司書の司書教諭資格所有の有無と図書指導の実態は。不登校児童生徒の図書館への活用は。

A 適任者が見当たらず来年度も兼務。壁紙修復は来年度予算要求。読書貯金通帳は全学校に配布し、図書館まつりで表彰。大人用は既存で対応。講座室は無料貸与で、年に約千二百名利用。全て司書教諭資格を有し、全教職員と一体で推進。児童生徒の実情を踏まえて活用。

町道の整備

立木伐採の予算化を

國 本

正月までに立木伐採をする 長信町長

Q テクノ7前から合同斎苑を通って農道に至る町道神過線について、安全にダンブとの離合ができるよう町有林側の立木伐採の予算化を。多くの町民の要望があるこの町道と農道との交差点に信号機の設置を。

太陽光発電のフェンス・柵設置時における国の基準

1. フェンス・柵設置時に遵守すべき5つの基準 (2017年8月18日時点)

- 基準1. フェンス・柵と設備の距離は、外部から節電設備に触れられない程度にすること
- 基準2. フェンス・柵の高さは、簡単には入れない程度を確保すること
- 基準3. フェンス・柵の使用素材は、簡単には取り除けないものにする(ロープはダメ)
- 基準4. フェンス・柵の出入り口には、施錠すること
- 基準5. 外部から見えやすい位置に、立ち入り禁止看板をつける等の立ち入り防止措置をすること

2. フェンス・柵設置を省略できる2つの例外

- 除外規定1. フェンス・柵がなくても第三者が近づけない場合
- 除外規定2. 営農型太陽光発電なので、フェンス・柵があると邪魔になる場合

3. フェンス・柵の設置期限

- ・2017年3月31日までに稼働した場合：2018年3月31日まで
- ・2017年4月1日以降に稼働する場合：遅くとも運転開始まで



通行のさまたげになる立木

A これまでに峠の頂上付近からテクノ7へ向けて立木伐採を完了し、正月までは合同斎苑から峠の頂上付近まで伐採予定。利用者が多い交差点で、見通しが悪く危険であることから、信号機を設置を柳井署に要望したが、道路形状等から「設置できない」との回答。

Q 町内のあちこちに設置されている太陽光発電について、不耕作地等を太陽光発電に利用する場合、町としての規制は。これまでの太陽光発電の固定資産税の徴収は。買電価格の低迷で、採算が合わず撤退している事業所や個人はないか、今後の見通しは。

A 農用地区域に指定されている農地については太陽光発電設備を含む農地転用は原則不可。国が4月に大幅な法改正を行ない規制強化。農地転用などの情報を注視し、課税客体の把握に努力。設備を撤去した事案は皆無。太陽光発電工事は、優遇措置の縮小で減少傾向。

太陽光発電の設置

太陽光発電の規制を

國 本

国が規制強化

町 長

第二庁舎の計画

建設計画と進捗状況は

石田 修一

協議している

長信町長



石田 修一 議員

Q ①第二庁舎案の議論は具体的にどの程度進んでいるか。また町長はどのような考え方で進めているのか。今後の方向性について問う。②建設計画の企画立案にあたっては、住民サービスの向上に資する施設であると同時に、各課の職員の合意形成が必要と思うがいかがか。

A 第二庁舎については町職員で構成するプロジェクトチームから11月27日に報告を受けたばかりで、今後、来年度の本庁舎の耐震補強、改修工事に向けて準備や予算化を進めるとともに第二庁舎計画案を町議会や検討町民委員会と協議しながら、早期に具体化する。

水道事業の改革

見直し交渉は 石田

現時点では困難 町長

Q ①柳井広域の1市4町の責任水量の見直しをしてはどうか。②柳井市は県の支援で工業用水が45円、田布施町を含む4町も県と交渉できないか。③広島県では、県と市町で事業統合し料金格差の是正に取り組んでいる。1市4町で県に対し積極的に交渉すべきと思うが。



柳井地域広域水道企業団浄水場

A ①1市4町の責任水量の稼働率は77・5%で十分利用できていない状態。全体の責任水量を見直すに限り困難。②工業用水を飲料水と別ルートで可能か検討したが現時点では困難。③水道料金の均一化の対策を要望中。今後も積極的に県の関与を要望する。

水道料金

引き下げは

石田

経営改善に取り組む

町長

Q 渇水期の水不足を解消するため柳井広域水道企業団に加入し水不足は解消したが、家庭も工業用水も県下で一番高く、田布施町の活性化のため、企業誘致や定住促進を推進しているが、現在の水道料金は大きな障害となっている。町長はどのように考えているのか。

山口県の実家庭用水道料金

平成28年4月1日現在

市 町 名	給 水 人口 (人)	20㎡ 当り (円)
下 松 市	55,069	1,505
岩 国 市	117,274	1,674
萩 市	34,790	2,192
光 市	49,545	2,220
美 祿 市	23,321	2,402
長 門 市	33,406	2,440
防 府 市	108,016	2,494
山 口 市	173,770	2,813
周 南 市	115,093	2,840
山陽小野田市	63,644	2,851
宇 部 市	167,721	3,034
下 関 市	262,669	3,053
田布施・平生 水道企業団	19,534	4,622
柳 井 市	19,568	4,665
上 関 町 (注)	2,984	4,640
周防大島町 (注)	15,651	4,743

※料金は1か月分に換算したもの

(注) 上関町・周防大島町は簡易水道
資料：(社)日本水道協会「水道料金表」
柳井地域広域水道「関係団体水道料金表」

A 柳井地域1市4町は県内の市町と比較すると高い水道料金。水資源に恵まれず県や関係市町と協議を重ね、県境の弥栄ダムから水を引く巨大事業

をスタート。膨大な整備費用を要したため、県内で最も高い水道料金となっている。引き続き経営改善に取り組む。

種子法

廃止についての町としての
対応は

竹谷 和彦

県と協力体制を構築

長信町長



竹谷 和彦 議員

Q 来年4月1日より種子法が廃止される。種は国民にとって命ともいえるかけがえのない存在であるが、コシヒカリ等の栽培がいずれできなくなったり、農家が確保していた種を使った農業ができなくなるなどが懸念されている。町としての対応をお尋ねする。

A 県は法廃止後も当面は現在の体制を維持することとしており、町としては県方針を支持し、動向を踏まえながら必要であれば協力体制を構築していく。

種子法廃止の背景

- 種子生産者の技術水準の向上等により、種子の品質は安定
- 民間ノウハウも活用して、種子の品種開発を強力に進める必要があるが、都道府県と民間企業の競争条件は対等になっておらず、公的機関の開発品種が大宗を占めている。
- 都道府県による種子開発・供給体制を生かしつつ、民間企業との連携により種子を開発・供給することが必要
(農林水産省ホームページ資料から抜粋)

どぶろく特区

特産品としての活用は

竹 谷

支援を検討する 町 長

Q 先般テレビで田布施農工高校の日本酒やどぶろくのニュースを見た。町内の方でどぶろくの製造に着目し取り組んでいる方もおられるようだ。町は「どぶろく特区」に指定されているのだから町の特産品開発のために行政として何らかの支援をすることはできないか。

A 特産品開発については田布施町農水産物等ブランド構築検討委員会の活動を進めており、田布施農工高校との協力も引き続き進めていく。どぶろく特区を利用しての事業者への支援についても実際にどぶろく事業者からの相談等があれば支援の検討を行いたい。



田布施農工高校の酒造実習
(写真：田布施農工高校提供)

空家対策事業

進捗状況と今後の見通しは

竹 谷

ニーズに添えていく 町 長

Q 本町でも年々空家が増加し、大きな問題となっている。先般テレビで阿武町の空家対策が報じられていた。阿武町では中古住宅の仲介を行政が行

っており、大きな成果を挙げているようだ。今後、田布施町でも阿武町の手法を研究・取り入れる予定はあるのか。

A 本町でも行政が仲介を行っており、現在の空き家バンクの登録件数は8件でその内6件が成約済みである。阿武町の空き家対策の取り組みを今後参考に移住、定住の促進に努めていく。

保険税

平成30年度引き下げては

瀬石 公夫

現行税率で据え置きたい

長信町長



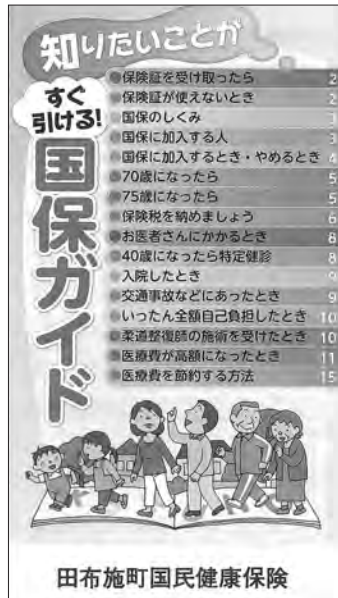
瀬石 公夫 議員

Q 平成28年度国保会計の決算では、繰越金が約1億1200万円以上となっている。住民からも「保険税は高くて払えない」との声が高まる中で、この機会に保険税を引き下げるべき時期だと考える。繰越金や一般会計繰入等により、社会保障の観点から引き下げては。

っているが、本町の現行税率と比べると高くなる見込みである。保険税率の上昇はでき

る限り避けたいと考え、平成30年度は、繰越金等を活用することで、現行税率で据え置きたい。

A 国保の都道府県化に向け、県が各市町に示す標準保険税率の仮算定を行



田布施町国民健康保険

国保パンフレット

第二庁舎

現庁舎の有効活用は

瀬石

様々な意見を聞かせて欲しい町長

Q 第二庁舎計画が示されたが、現在の本庁舎の空きスペース、会議室、委員会室等の有効活用をし、書庫を庁舎外に確保するなどレイアウトを見直す、教育委員会、社会福祉協議会は本庁舎に取り込めるのではないか。また、トイレ、休憩室等のリニューアルも必要では。



庁舎3階の第2委員会室

A 中央公民館や保健センターの問題等を解決するため、町職員で構成する「庁舎問題等検討プロジェクトチーム」が調査・研究を行い報告書が提出された。耐震性の欠如や老朽化等から、第二庁舎建設を提言している。具体的な対応は決めていない。今後意見を聞きたい。

保健センター・文化センター

整備を望む

瀬石

保健センターの役割は大きい

町長

Q 保健センターは、地域の母子保健・老人保健の拠点として健康相談、保健指導等を行う重要な施設であり整備を望む。

文化センターは、イベント、コンサート、サークル活動等の場として、文化にふれ合い、親しむことができる施設として必要では。

A 保健センターは、西田布施公民館の中にあり、場所が分かりにくく、また介護・保健・医療の推進及び子どもの虐待やいじめ・不登校等の対応等役割は大きい。文化センターは、適正な施設規模の調査・検討その財源等が必要であり、現在のところ、建設は困難。



文化センターの構想があった地域交流館横の町有地

第二庁舎

計画は怎么样了

西本 篤史

町民が気軽に

立ち寄れようにしたい

長信町長



西本 篤史 議員

Q 現在の中央公民館（教育委員会、中央公民館、社会福祉協議会など）は50年近く経て老朽化している。第二庁舎は、多目的ホール、カフェ、保健センター等が入り、町民が気軽に立ち寄れる施設にしてはどうか。また、建設の補助金や交付金などはあるか。



ほしらんどくだまつ
（カフェ、ふるさと広場、多目的ホールがある）

A プロジェクトチームの第二庁舎案は、「町民が気軽に立ち寄れる」交流スペースも含めた案となっている。事業費の財源は、本庁舎の耐震化の方で「緊急防災・減災事業」を補助金活用するので、基金や交付税がない一般単独事業債による資金調達を基本とする。

主要道路

整備は

西本

通学路関係を進める

町長

Q 町民の生活に欠かせない主要道路の整備を優先的に計画してはどうか。特に中央南から新川、高塔に向かう道路。交通量が多い割に道路が狭く、住民も離合の際に脱輪するなど事故も多い。現在の道路の工事状況、橋梁検査の結果、今後の都市計画の道路整備は。

A 中央南から新川、高塔に向かう新川旭線については、用地関係者の理解が得られていないため、整備に着手できない。都市計画街路の整備は、



新川地区の狭い道路

灸川

避難勧告は

西本

水位計レベル現時点では変更はない

町長

Q 灸川は幾度となく警戒水位を越え日本中に知れ渡り、避難勧告も出た。しかし、現地に行くとそれほどでもない。今後、警戒水位のレベルを変更

出来るのか、川の浚渫計画もあるがいつまでこたれただけ出来るのか。浚渫も一気にはやらないと効果がないのではないか。



草が生い茂る灸川（八和田地区）

A 県は避難に要する時間を極力確保し、水位上昇速度等も参考に設定しており、現時点では変更しないとしている。県で今年度、灸川の浚渫と草木の除去を行うための工事を追加で実施する。町では、ハード面の整備促進及び監視カメラの設置を要望した。

防災対策

安全確保は

松田規久夫

麻里府は指定場所変更

長信町長



松田規久夫 議員

Q 田布施川支流の灸川が危険水位を超え、避難勧告は全国にテレビ放送された。防災無線で避難勧告放送を明確に聞き取れた人は少数で、マスコミから情報を得た人が多かったと思う。指定された1次避難場所の安全確保は。放送とサイレン使用の併用はできないか。

A 1次避難場所の麻里府保育園を、新たに建設される田布施南地域防災センターへ指定変更予定。他の4地区の1次避難所は適切で、町内全域の緊急避難所は32箇所ある。各地区の収容可能人数は、城南21%、西100%、東20%、麻郷14%、麻里府38%。

ため池

管理に問題は 松 田

点検パトロール実施 町 長



灸川水位計（八和田地区）

Q 町内5地区のため池の数は。ため池はどのように区分され、誰がどのようにに管理しているのか。管理ができていない場合、行政はどのように関わるのか。ため池安全度のリンク付けはされているか。その結果を周辺住民への周知は。管理する担い手の将来不安は。

A 平成26年度に72池の一斉点検をし、データベース更新した。危険ため池は5池あり梅雨期前に関



城南地区のため池

係機関・地元関係者・消防署を交えパトロールする。非常時の操作手順、連絡体制及び避難場所の

周知、応急措置などで地域防災上のリスクの低減・除去を図る。

水道料金

安価な飲料水の確保を

松 田

県を中心に検討

町 長

Q 香川県は来年4月に水道事業を統合し、全国初の1県1水道体制をつくる。町長として山口県に1県1水道体制になるよう早期の政治決着の要望

を。柳井広域の水道料金は使用料20立方メートルで県内比較をすると、下松市、岩国市の3倍、下関市の1.5倍。

A 施設等の老朽化に伴う大量更新期の到来や、人口減少に伴う料金収入の減少等により、経営環境が厳しさを増す。国は事業者に対して広域的な連携強化を指導。県も国の方針で連携に関する検討の場を設置し、各地域の実情に応じた共同化を幅広く検討。

◎その他の質問

・危機管理の視点から北朝鮮ミサイルについて
・第二庁舎新築について

命名権

図書館など募集しては

河内 賀寿

調査、研究する

長信町長



河内 賀寿 議員

Q 山口市で西京スタジアム、県は維新百年記念公園陸上競技場の命名権の募集を始めた。最近県内でこういう事例が相次いでいる。本町も図書館などで募集してみてもどうか。この事業者と契約でき、いくらかお金が入れば、新刊図書購入代などにも使用できるのでは。



命名権を導入したビジコム柳井スタジアム

A 命名権の現状は、大きな集客が見込めるものは競争の契約になっているが、そうでない施設もある。広島市のこども文化科学館とこども図書館で、年間108万円の事例もある。残念ながら本町は、大きな集客を見込める施設はないが、今後、調査・研究はする。

経済厚生視察研修レポート

10月26・27日に熊本県の2町へ視察研修に行きました

益城町では昨年の熊本地震で20名を超える犠牲者と甚大な被害を受け、その後の大水害にも遭い、復旧・復興が未だ道半ばの最中を視察しました。



活断層が現れた農地(益城町)

大地震発生の発生確率が1%に満たない「安全な町」を掲げて企業誘致も進めていましたが、それこそ想定外も想定外といった青天の霹靂ともいえるような大地震であったといえます。

協議の中で、日頃から自主防災組織などの災害への備え、復旧・復興がなかなか進まなく、自助・共助の必要性を強調されていました。

災害地の視察では、町全体で数十センチ地盤沈下した様子や、耐震補強



天井が崩落した議事堂(益城町)

した庁舎の内部の損壊。特に天井が崩落するなど甚大な被害を目の当たりにしました。庁舎の耐震補強や新庁舎建設を進めていこうとしている我が町でもよそ事ではないと感じた次第です。

甲佐町ではこちらも大震災と大水害の被害が著しく、震災による液状化した地域も散見される状況の説明を受けました。

甲佐町でも水害の備えは怠りなかったようですが、町の一部に断層帯が走っているものの、大地震は想定外だったようです。

復旧・復興では5年以内の復興を目指し、「震災前よりも元気な町へ」のスローガンで取り組んでいることや、今後の大震災を想定して「地震防災マップ」を作成したことが紹介されました。

災害地の視察では、地震と液状化により、道路のひび割れ・護岸や橋梁

の損壊の様子、農業用水路の復旧の様子などを見ることができました。



落下した跨道橋跡(甲佐町の九州自動車道)

どちらの町も、他の自治体からの応援職員の派遣で助かったこと、激甚災害の指定を受けているが、発注率や竣工率が低く、復旧・復興が思うように進まないことを言われました。

この研修視察で、説明役役場職員の「大切なのは日々の訓練ですよ」との言葉を肝に銘じておきたいと思った次第です。

指定管理者施設の紹介

① 田布施町 のんびらんど・ うましま

レクリエーション、研修などの幅広い活動を通して、人々が交流できる場を確保し、離島の振興を図っている。

町内外から多くの来島者があり、観光や自然に親しむアウトドアの場となっている。



のんびらんど・うましま

② 田布施町 地域交流館



地域交流館

地域の農林水産物や特産品等の販売による農林水産業、地場産業の振興と地域情報の発信により交流の場となっている。

安くて、新鮮で、安全な田布施産品を、地元、近隣の消費者に提供し、地元産品の良さを広めている。

③ たぶせ特産 加工センター

町内産農産物を加工しての特産品開発や地産地消を推進し、ジャム・ジュース等の製造を行っている、町内外で販売中である。



たぶせ特産加工センター（西小隣）

特産加工センターとは

農業経営や農家生活の改善、地域連帯感の醸成を行ない、住民生活の向上を図っている。

④ 小行司特産 加工センター

田布施町の農産物を中心に調理・加工した惣菜（うどん・弁当）、菓子、コンニャク、味噌、漬物等の農産物加工品を製造・販売している。



小行司特産加工センター

⑤ 田布施町 心身障害者 福祉作業所 「さくら園」

在宅の心身障害者で、事業所等に雇用されることが困難な対象者に、その能力に応じた授産指導や作業を通じた生活訓練等を実施し、心身障害者の福祉の向上を図っている。

保護者とも連携して活動を行っている。



さくら園（砂田）

⑥ 田布施町高齢者 介護予防センター



高齢者介護予防センター（城南）

高齢者の介護予防や介護知識、介護方法の普及を図っている。

コミュニケーションを大切にし、気軽に相談や要望などができる環境づくりを行ない、集団活動を通して社会的孤立を防ぐとともに閉じこもり防止の指導を行なっている。

◇指定管理者制度とは

公の施設（福祉施設、文化施設、体育施設等）の管理に関する権限を地方公共団体が指定する者（指定管理者）に委任するもの。指定には議会の議決が必要。施設の設置者である地方公共団体は、管理権限の行使は行わず、設置者としての責任を果たす立場から必要に応じて指示等を行う。

議会だより

135号を読んでの感想です

◆お礼◆
議会広報広聴モニターの皆様にはご多忙な中にもかかわらず、毎号貴重なご意見やご感想をいただき厚くお礼申し上げます。

そこから始まる

大内 久美子

議会だよりを開き、麻里府地区の災害時の避難所として利用できる地域防災センターが浜城地区にできることを初めて知りました。麻里府地区は、海に面していることもあり、災害時の避難所に対する不安は多く、近々の課題であると感じていました。やはり身近な問題は気になります。町民の知りたい情報を掲載することも、議会だよりの役割であると改めて感じました。モニターとして、毎号読ませていただいていたことが、一検討する「研究する」という回答の後、その後どうなつたのだろうと思うことがあります。検討された結果や進み具合等、追いかける内容の記事があつてもよいのではないかと思います。そこで終わりでなく、そこから始まる議会だよりであつてほしいと思いました。町民のため益々の発展を願います。

写真掲載の工夫を

梅木 靖子

議会だより135号を一読し、次の2、3点を思いました。
一つは、表紙が地味ではないでしょうか。カラーにし、写真を大きくし、文字、説明は終わりのページにもつていってもよいような気がします。インパクトが大きくなるような表紙になれば、議会に対する関心が1%でも高まると思います。
二つ目は、中に掲載されている写真が小さいため分かりづらい。かいつて写真のない文章ばかりの記事では、読む人は少ないでしょうし。余白を埋めるだけのカット気分ではもったいないように思います。
三つ目は、一般質問。町民の声が小さな問題でも反映されていることを思い「よりよい住みよいまち田布施」のスローガンに議員さんが尽力されていることに有難く思いました。

田布施が見えてくる

平松 恭子

広報モニターを受けるにあたり広報委員の方々の「議会だより」に対する熱い思い入れとご苦労をお伺いしました。その意志に比べねばと今までの拾い読みを改め、週つてじっくり読み返してみました。私の知らない田布施がありました。
定例会の一般質問、各委員会での質疑応答等、私たちの生活に直結しながら気づかない問題や疑問に感じながらも見逃していた事柄が、細かく審議されています。
Q & Aのすぐ横に参考資料も添えてあり読み手に配慮された紙面です。
この提案や議案の一つ一つが未来の田布施に繋がる事であり熟読しなければと再確認しました。
また多くの研修会、視察を重ねて得た新しい情報を取り入れて、町政へ反映しようという思いも伝わり町民として嬉しく思いました。これからの町政に一層の関心を向けて読みたいと思います。

ふるさと思おう

梅原 唯廣

議会だより、135号を読み、各方面の課題、問題、報告の質疑応答が資料、統計、グラフ等で掲載され、じっくり読めば分り易く感じました。質疑にもある様に、町内も全国共通の少子高齢化、過疎化、耕作放棄、所有者不明地、さらに空き家と、身近な周辺にも眼立つ課題が山積しています。
表紙の写真に地元の伝統芸能を、若者が傳承しその周りをあたたく見守る、日本の良きふる里を感じます。継続は力と言われますが、地元の方々の不断的努力とたゆまぬ絆の大切さを感じます。
他県の市町村のふる里活性化の研修報告を読みました。本町にも参考になるものは、具体的に取り入れる事を期待します。山、川、海と自然に恵まれたこの田布施が、いつまでも活力あふれる良きふる里であるよう日々の生活に心がけたいと思います。

アイディア次第で

永田 京子

私は以前より「議員リレー随筆」が大好きです。議員さんのさりげない日常生活、心配りが垣間見えるからです。今回の谷村議員はご自身の体験を生かして町民に、体力、気力アップのエールを送られているように感じました。瀬石議員は、田布施川を春には桜、秋には彼岸花を。黄金の稲穂と赤く燃える彼岸花のコントラストが大好きな私は、田布施川の堤を真赤に染める案に「いいね」を5つくらい送りたい気持です。又、詩情公園の斜面に芝桜を植えてピンクの山にしても美しいのではないのでしょうか。
議員さんの視察研修について編集後記に「あつく」記されていました。アイディア次第で町民の口は増え活性化すると記され、議員さんのあつたい思いが伝わりました。表紙の薙刀の舞の若い女性生きとしたまちづくりをして頂きたいと思います。

クイズ的思考方



河内 賀寿

昭和 63 年、第 13 回アメリカ横断ウルトラクイズ、第 1 問目。英語のスタチューオブリバティを、自由の女神と訳したのは戦後からである。○か×か。2 万人の参加者が半分に割れた。私は×へ。さてクイズ的思考方。もし○で放送後、明治の頃自費出版で百部だけ村の人に配った

本の中に訳があるのを敗者が見つけて指摘したら TV 局は手も足も出なくなる。だから逆にそんな本があるから、この問題が×で成立するのだ。東京ドームのオリビジョンに×が映し出された時の大歓声は今も忘れられない。第 2 問目以降は、字数がないので、またの機会に。

しめ縄作り



林山 健二

私達麻郷郷友会は、毎年 4 月 1 日に高松八幡宮と共催で戦没者の慰霊祭を斎行しています。12 月には高松八幡宮に 2 本のしめ縄を奉納しています。これが会の最後の作業です。

8 月頃から餅米を作っている方にお願ひして餅藁を提供していただき、脱穀される日、すぐ頂いて帰る、雨に依る変色を避ける為、倉庫に保管。去年は 13 名が 9 時に集合し、藁叩き、袴をすくって編み始め、2 本のしめ縄を編み上げ、全員で藁髪をハサミで切り取って仕上げ、拝殿前と鳥居に高い脚立を使い新旧の取替終了は昼前でした。初詣でご覧いただいたのでは？

議員リレー随筆

議会を傍聴してみませんか

3月定例会の日程(予定)

8 日	本会議 (初日) (一般質問)
12 日	予算審査特別委員会
14 日	経済厚生委員会
16 日	総務文教委員会
22 日	本会議 (最終日)

※いずれも午前 9 時から
※正式には 3 月 2 日の議会運営委員会で決定されますので、ご確認下さい。

11 月 17 日、周防大島町役場 3 階会議室で開催された平成 29 年度町議会広報研修会に出席しました。事前には周防大島町、和木町、上関町、田布施町より提出された質問項目について 2 つの

分科会に分かれて 13 時 30 分から 14 時 30 分まで情報交換を行いました。町民のための開かれた広報誌づくりのために大変有意義な研修会でした。

県内町議会広報研修会

平成 29 年 10 月 31 日に熊毛郡議会広報連絡協議会視察があり、上関町、平生町、田布施町の広報委員が「筆の町」広島県熊野町に行きました。熊野町の議会の特徴は、町議と中学生が「魅力あるまちづくり」をテーマにワールドカフェ方式で意見交換をし、若者の発想をまちづくりに生かそう



ワールドカフェの様子(くまの議会だより)

熊毛郡議会広報連絡協議会視察レポート

と町議会が企画したそうです。広報の題字も筆の町らしく達筆で書いていました。

編集後記

表紙は成人式でのひとコマ。会場いっぱい笑顔があふれていました。さて、このような平和な日常が急になくなる、話題になった映画が年末年始テレビで放映されました。

まず、「シンゴジラ」。ゴジラが東京に上陸しているのに、会議ばかりしている政府。自衛隊への命令はいつになるのだろうか、という話。

もう一つは「君の名は」。彗星が町を直撃すること、未来の知識を知っている主人公が、町長を必死で説得し、防災無線などを使い、住民避難をさせるお話。

いずれも行政の危機管理という点で、考えさせられるものがありました。ところで、議会広報広聴調査委員会は、議会広報委員会にまもなく名称変更します。この手続きの時間はすぐとはいきませんが、本町の危機管理は、迅速だと言いたいのです。

(河内 賀寿)